

第2節 活用の現状と課題

1. 指定地全体（共通）の現状と課題

甲府城跡は現在、山梨県に現存する城跡を代表する象徴性を持った公園となっており、史跡指定地は、都市公園「舞鶴城公園」として様々な利用がなされている。天守台からは周辺一帯を見渡すことができ、眺望に優れた立地である。JR 甲府駅に近く、多くの県民・観光客の憩いの場となっており、学校の遠足や校外学習の場としても利用されている。城内ではボランティアガイドによる案内も行われている。

各地区の特徴について述べると、まず本丸地区は、曲輪の形状、石垣遺構が比較的良好に保存されており、城跡の雰囲気が最も感じられるエリアである。稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区は、石垣の形態が最も多様に存在するエリアであるが、JR 甲府駅から最も近い入口があるため、公園のエントランス的な性格をも併せ持つ場となっている。鍛冶曲輪地区は西と南からの入口があるのに加え、開放的な広場があるエリアであり、日常的な散策やレクリエーションに利用されるほか、信玄公祭り等の大規模なイベントにも利用されている。南に面しているため、明るいイメージがあり、最も公園らしいエリアとも言える。一方で、二の丸地区のように積極的な整備が行われておらず、活用の場としては限定的な箇所や、石切場地区のように公開されていないエリアもある。

エリア全体として見ると、人々が集う場であるものの、近代以降に土地が大きく改変された場所もあることから、城本来の姿ではないものがエリア内に混在し、城の性格や特徴を理解しにくいという課題がある。また、階層的な曲輪が入り組んでいるため、園路が複雑であり、城内を巡る動線が明確でないことも課題である。都市公園としての活用に比べ、史跡の本質的価値を活かした活用面は、まだ十分ではなく、史跡を体感する場として、学校教育や生涯学習の場としてのより一層の活用促進が望まれる。

また、甲府城跡周辺は市街地化されていることもあり、城の重要な要素である大手門、柳門の存在感が失われている。特に水堀に隣接する大手門周辺については、堀の一部のみが水堀として残されている現状と相まって、城本来の姿をイメージしにくい状況となっている。また、石切場地区は公開されておらず、史跡の価値の顕在化が必要であると同時に、甲府城との関連を明示できるような活用のあり方を検討する必要がある。

さらに、史跡内の回遊のみならず、甲府市が整備した甲府市歴史公園山手御門等、史跡外の甲府城跡の関連施設を網羅した形での活用が必要であるため、関連施設のあり方を検討するとともに、大手門や柳門など、顕在化されていない本質的価値の表出方法についても検討していく必要がある。また、市内に所在する同じく国史跡の武田氏館跡との繋がりや、県内の他の城郭との関わり等を含めて、周辺文化財とより一層の連携を図っていく必要がある。

2. 活用の種類ごとの現状と課題

(1) 現状

1) 史跡指定地の公開状況

城内の各地区については常時公開している。この範囲は都市公園（舞鶴城公園）に含まれており、多くの県民や観光客が訪れている。石切場地区については、現在非公開となっている。

2) 諸施設の設置状況

城内の各地区の諸施設については、平成元年度に作成された『舞鶴城公園整備計画』に基づき整備を実施したものである。石切場地区については、非公開であるため、指定地の周囲に侵入防止フェンスが設置されているのみである。

① 来訪者が安全・快適に利用できる諸施設の設置状況

ア 園路

イ 転落防止柵

石垣天端の前面に、木製の転落防止柵を設置している。

ウ 案内看板

来訪者に対する城跡利用の案内板は、二の丸地区に1基、稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区に2基、鍛冶曲輪地区に3基、堀地区（指定地内）に2基、同（指定地外）に1基設置されている。

エ トイレ・四阿・ベンチ等

トイレについては、本丸に1箇所、稲荷曲輪に1箇所、鍛冶曲輪の公園管理事務所に1箇所が設置されている。

四阿は、稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区に2箇所設置されている。

ベンチは、本丸地区に5箇所、稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区に10箇所、鍛冶曲輪に11箇所、堀地区に12箇所、堀地区（指定地外）に7箇所設置されている。

オ 駐車場

指定地内では、駐車場は、堀地区に1箇所設置されている。

② 史跡の本質的価値を伝えるための諸施設の設置状況

ア ガイダンス施設

現在、甲府城跡のガイダンス施設は設置されていないが、史跡内にある稲荷櫓で甲府城に関する展示を行っている。また、山梨県防災新館地下1階にある甲府城石垣展示室では、防災新館建設時に確認された、築城期の石垣を移設復元し展示している。

イ 歴史的建造物の復元展示

甲府城に関連する歴史的建造物は、すべて取り壊され現存しないが、稲荷櫓と鉄門、内松陰門、稲荷曲輪門、鍛冶曲輪門が復元展示されている。また、史跡外であるが、山手門が「甲府市歴史公園山手御門」として復元展示されている。

ウ 修景施設

稲荷曲輪・数寄屋曲輪・鍛冶曲輪を取り巻く形で漆喰塀が設置されている。また、稲荷曲輪と数寄屋曲輪の境には数寄屋勝手門が設置されている。

エ 表示遺構

本丸には、暗渠・銅門礎石が表示されている。稲荷曲輪には、煙硝蔵・井戸・二重石垣等が遺構表示されている。また、鍛冶曲輪にも井戸・石組水溜が遺構表示されている。

オ 説明板

史跡の構成要素等に関する説明板は、本丸地区に6基、二の丸地区に2基、稲荷曲輪・数寄屋曲輪に9基、鍛冶曲輪地区に2基、堀地区（指定地内）に1基設置されている。

3) 歴史学習・周知活動の状況

① 学校教育

学校教育の場としての活用では、校外学習での城内解説のほか、近隣学校とタイアップした甲府城関連のイベント等を実施している。

② 社会教育

社会教育の場としての活用では、甲府城の価値を広く知ってもらうための各種講演会の開催や、シンポジウム・体験学習会・イベントの開催、稲荷櫓・鉄門での調査成果の展示等を実施している。

4) 地域社会との連携に関する状況

史跡内を案内するボランティアガイドが、来城者に対し、甲府城跡に関する歴史や周辺の観光に関する情報を分かりやすく伝えている。地域の各種団体の活動については把握できていない。

5) 多様な来場者の実態調査と対応

城内の各地区については、城跡及び公園として県民等に広く親しまれているが、来訪者数や利用実態は、現状では正確には把握されていない。

(2) 課題

活用上の課題は、「公開」及び「諸施設の設置」に関することと、「ソフト事業の実施」に関することに分けられるが、ここでは、主として後者について記述し、前者については、「整備の課題」で扱う。

1) 情報の提供

- 甲府城跡の歴史や概要をまとめ作成、配布しているパンフレットについては、ほぼ日本語によるもので多言語化が図られていない。印刷部数が十分でなく、要望に対して十分に対応できていない。
- 県ホームページに掲載している甲府城に関するページのさらなる充実と多言語化が求められる。
- 甲府駅構内や甲府駅周辺に、歴史的なエリアガイド等が設置されておらず、来訪者を甲府城跡へ誘う仕掛けが不足している。

2) 公開・活用に関する課題

- 石切場地区は非公開であり、城内の各地区と石切場地区とが一带となった活用がなされていない。
- 現在実施している学習会、活用イベント、シンポジウム等のソフト事業の充実。
- 発掘調査や整備工事の際の現地説明会の場が不足している。
- 甲府城跡の歴史や概要を来訪者に伝えるためのガイド機能を一元的に整備することが求められる。

3) 周辺文化財等との交流

- 甲府市歴史公園山手御門等、史跡外の関連施設を網羅した形での活用が求められる。
- 国史跡武田氏館跡との繋がりをもった活用や、県内の他の史跡等との連携が求められる。
- 周辺文化財等との繋がりをもった活用を進めるためには、地域の歴史の中で甲府城を評価する必要があるが、これに関する調査研究が十分ではない。

4) 学習の場及び教材の提供

① 学校教育

○校外学習の場としてさらに利用してもらう必要がある。

○地域学習の教材として十分に提供されていない。

② 社会教育

○現在実施している歴史講座、活用イベント、出前講座等のソフト事業の充実。

5) 地域連携の促進及び市民活動等への支援

○ボランティアガイドと文化財保護部局との関わりをより深め、来訪者に最新の情報に基づく案内を提供するなどきめ細かい対応が求められる。

○地域の活動団体等の活動状況に関する調査を実施し、その動向を把握した上で、各種団体との交流を通じて地域住民との連携をはかることが求められる。

○文化的資源を活用した観光を促進するなど、地域の活性化につながる活用が求められる。

○甲府駅を起点とする来訪者を甲府城跡へ誘うためには、甲府駅構内や駅周辺への、歴史的なエリアガイド等の設置が必要である。

6) 多様な来場者の実態調査と対応

○来訪者数や来訪の目的、来訪者の性別・年齢構成・交通手段・滞在時間・周回パターン等、活用の方針を検討するための基礎となる利用実態を把握する必要がある。

主な活用事例

| 種別 | 地区 | 名称 | 主催者 | 概要等 |
|------|--------------------|----------|--------------|------------------------------------------|
| 学校教育 | 全地区 | 甲府城跡青空教室 | 山梨県埋蔵文化財センター | 築城期の石垣を中心に見どころを解説 |
| | 本丸地区、稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区等 | ひらけ！玉手箱 | 山梨県埋蔵文化財センター | 江戸時代の城下の暮らしや技術等を体験し、甲府城を身近に感じてもらうためのイベント |
| | 全地区 | 校外学習 | 山梨県埋蔵文化財センター | 小中学校を対象とした現地学習。令和元年4～5月、実績18校 |
| | 本丸地区、稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区 | 石垣体験学習 | 山梨県埋蔵文化財センター | 石垣体験キット「石垣詰めるくん」を活用したイベント |
| 社会教育 | 稲荷曲輪・数寄屋曲輪地区 | 稲荷櫓展 | 山梨県埋蔵文化財センター | 「甲府城物語」として甲府城跡及び城下町遺跡発掘調査成果等を展示 |
| | 本丸地区 | 鉄門展 | 山梨県埋蔵文化財センター | 信玄公祭りに併せ調査成果を展示、和楽器演奏会も開催 |

| | | | | |
|------------|---------------|------------|----------------|-------------------------------------|
| 社会教育 | 鍛冶曲輪地区 | シンポジウム | 山梨県埋蔵文化財センター | 調査研究に関するシンポジウム、平成 28、29 年度は石垣サミット開催 |
| | 鍛冶曲輪地区 | 講演会 | 山梨県埋蔵文化財センター | 甲府城跡の価値を広く一般に知ってもらうための各種講演会の開催 |
| | — | 各種刊行物の発刊 | 山梨県埋蔵文化財センター | 甲府城跡を見学、学習する上でのマップやガイドブックの刊行 |
| その他イベント関連等 | 鍛冶曲輪地区 | 年頭視閲式 | 山梨県警察本部 | 毎年 1 月上旬 |
| | 鍛冶曲輪地区 | メーデー | 日本労働組合総連山梨県連合会 | 毎年 4 月末 |
| | 鍛冶曲輪地区を中心に全地区 | 信玄公祭り | 信玄公祭り実行委員会 | 毎年 4 月上旬 |
| | 鍛冶曲輪地区を中心に全地区 | 小江戸甲府の夏祭り | 小江戸甲府の夏祭り実行委員会 | 毎年 8 月中旬 |
| | 鍛冶曲輪地区 | 恩賜林御下賜記念式典 | 山梨県知事 | 毎年 3 月中旬 |



石引き体験イベント



石垣補修工事の見学会



石割り体験イベント



野面積み石垣積み体験キットを使ったイベント